



背景

「オーガニック」＝「有機」とは

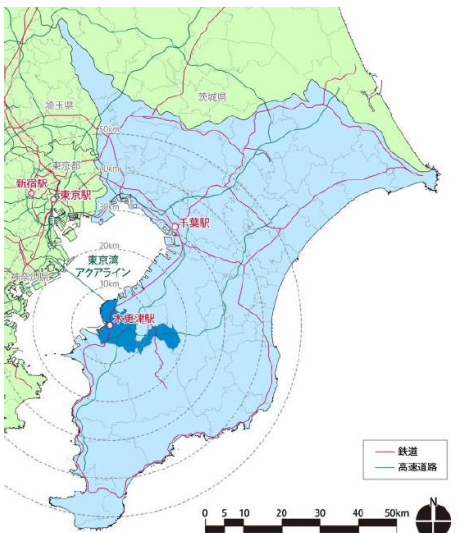
- 体を構成する臓器や細胞などの各部分が、それぞれの機能を持ちながら、つながりあって、バランス良く連携補完しあっている様子。

オーガニックなまちづくり

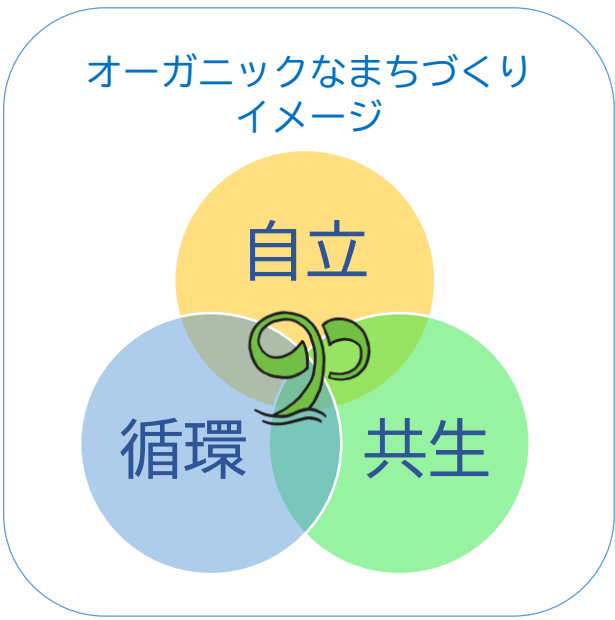
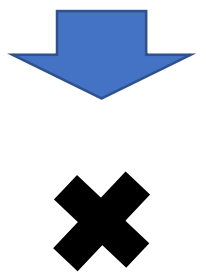
- ①木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例（平成28年）

【オーガニックなまちづくり】（条例第2条）
 地域社会を構成する多様な主体が一体となり、人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承しようとする取組。

- ②木更津産米を食べよう条例（平成28年）



木更津市の位置



木更津市マスコットキャラクター きさぽん

オーガニックなまちづくりを推進することでSDGsの達成に貢献します！

事業内容
これまでの取組

生産者も元気！

お米を作る！

作



食

いつもより
おいしい！

自立

循環

共生

食べて元気！

学校給食に提供
※市内小中学校30校

【到達目標値】

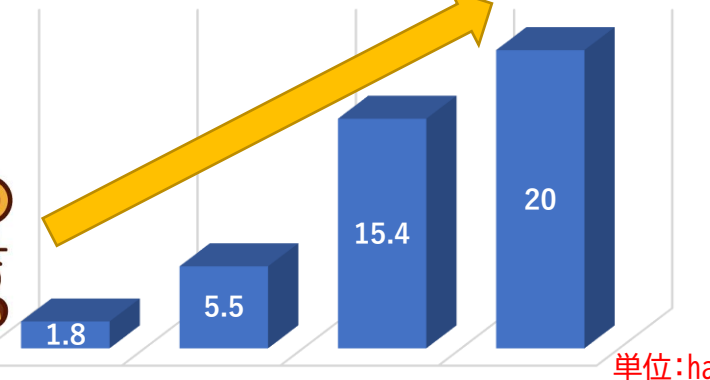
米飯給食日数/年 134日/年
必要量(有機米) 約125 t
栽培面積(420kg/haとして) 35 h a

※給食日数 年間最大191日
米飯給食日数 週3.5回
必要量(米) 最大930kg/日

目標 35 ha!
お米 125 t!



農地の推移(ha)



令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度

学校給食
提供日数

3日間 16日間 52日間 65日間

きさらぎ学校給食米

期待される効果

地産地消の促進

食育の推進

環境保全

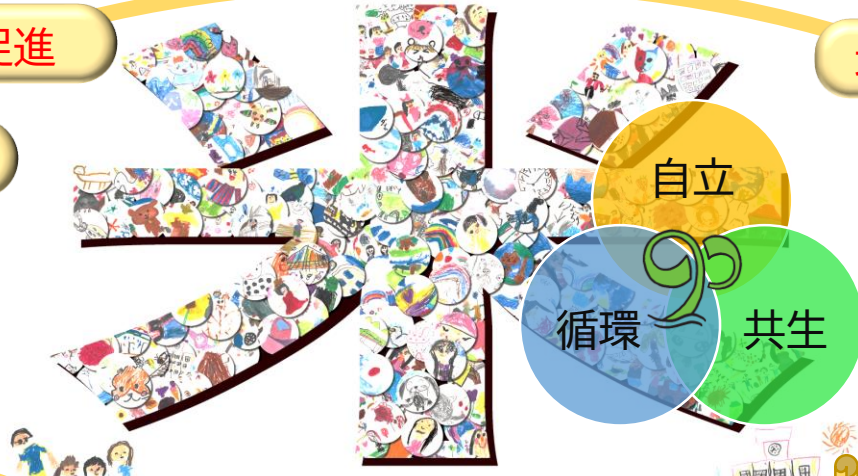
SDGsへの貢献

地域経済の活性化

有機農業の推進

農業振興

安心・安全な食の提供



地域課題の解決へ！

- 農業従事者の増加
 - 耕作放棄地の減少
 - 食品ロスによる廃棄物の減少
 - 環境負荷の軽減によるゼロ・カーボンシティの実現
- など

オーガニックなまちづくり

企業の皆様 お願いしたいこと

- 企業版ふるさと納税によるご寄附
- 企業ノウハウやアイデアを活かした支援・ご協力等

寄附をするメリット等

- 本市との新たなパートナーシップの形成
- SDGsの取組支援による社会貢献
- 新米試食会へのご招待（令和5年度秋）



お問合せ先

木更津市役所
 企画部オーガニックシティ推進課
 公民連携係 担当：横田
 TEL：0438（23）8049
 Mail：sousei@city.kisarazu.lg.jp